

学校教育目標 「心豊かな生徒」「自ら学ぶ生徒」「心身ともにたくましい生徒」

校 訓 「自主・責任・規律・親和」 R5. 6. 27発行 文責 校長 本多 博

令和5年度「南部っ子の心を見つめる教育週間」が始まりました。 6月26日(月)～7月2日(日)

6月26日から「南部っ子の心を見つめる教育週間」が始まりました。この1週間は、子供達一人一人に「命」や「人を思いやる」ことの大切さについて普段以上に考えてほしいと思っています。保護者の皆様におかれましても、ご家庭でお子様と話をする時間をもっていたいただければ幸いです。さて、26日の集会で子供達に校長として話をさせていただきました。その内容を簡単に紹介します。

教育週間が行われる背景

今から20年前に長崎市で中学生による幼児殺害事件がありました(翌年には大久保小学校事件が起こります)。二度と同じような過ちを起こさせないため、県内全ての小・中学校で教育週間を位置づけて、「命」と「人を思いやること」の大切さを考える期間としました。

奇 跡

両親から、あなたと全く同じ遺伝子をもった子供が誕生する確率は70兆分の1です。あなたは、70兆分の1の奇跡の存在。この確率は、あなたが持っている可能性も示していると思っています。あなたは、たくさんの可能性をもって生まれてきました。自分の可能性、そして友人の可能性を信じてください。自分の可能性に、自分で蓋をしないでください。「どうせ…」とか、「無理、限界…」とかいう言葉で、自分と仲間の可能性を閉ざさないでください。

学校は、みんなの可能性を信じて伸ばす場所です。

取り返しのつかない傷

体の傷は目に見えます。だから、傷付けた側にも、傷つけられた側の痛みやがわかります。しかし、心の傷は目に見えません。だから、平気でSNSでひどい言葉を書き込むことができるのだと思います。誰かの心を大きく傷つけても、そのことに気付かないことさえあります。自分の言動が、誰かを傷つけていないか注意を払わないといけません。そして、もし自分の心が傷つけられたときには、自分だけで抱え込まずに周りの人に助けを求めてください。

以上のような内容の話を、私の体験も交えながら話しました。そしてこの後、松谷みよ子さんの絵本「わたしのいもうと」を朗読しました。

【教育週間の取組について】

今週は全ての教育活動を公開しています。いつでもお越しください。また、6月29日は、5校時に道徳の授業を行い、その後学級懇談会を予定しています。参加をお待ちしています。

(お願い) グラウンド工事に伴い、車を駐車できるスペースが少なくなっています。

29日に自家用車でお越しの際は、可能な限り乗り合わせていただくと助かります。